

桐生自然観察の森の動物たち 2012-2015

桐生自然観察の森 田野芳久

1. 概略

2011年11月から始めた桐生自然観察の森でのセンサーカメラによる大型哺乳類の調査も今年で丸4年を経過しました。

「ぐんまの自然のいま」出展も3回目となりますが、今回は節目として、2012-2015のデータを俯瞰し、哺乳類各種の月別の出現動向、年毎の出現頭数の比較、年毎の哺乳類各種の存在比などを検討してみたいと思います。

また、今回も映像展示を行います。

映像展示に際して、自然史博物館のご厚意で、桐生自然観察の森生息種の剥製展示も併せて行います。

2. 園内生息種とセンサーカメラに撮影された種

桐生自然観察の森において生息が確認されている種と2012~2015年の間にセンサーカメラによって撮影できた種は以下の通りです。

2015年にセンサーカメラで新たに撮影できた種はありませんでした。

目録記載種	撮影種
ニホンノウサギ	○
ニホンイノシシ	○
ニホンカモシカ	○
ニホンジカ	○
キクガシラコウモリ	?
テングコウモリ	?
ニホンザル	○
ニホンテン	○
ニホンイタチ	-
ニホンアナグマ	○
ホンドタヌキ	○
ホンドギツネ	○

目録記載種	撮影種
ツキノワグマ	-
ハクビシン	○
ヒメネズミ	-
アカネズミ	☆
カヤネズミ	☆
ムササビ	★
ニホンリス	-
カワネズミ	-
ジネズミ	-
アズマモグラ	-
ヒミズ	-

※ ?印はコウモリ類が確認されたものの、同定が困難なことを示す。

※ ☆印はネズミ類が撮影されたものの、同定が困難であったことを示す。

※ センサーカメラ設置高の関係から、基本的には食虫目・地上性のげっ歯目はセンサーで検知されないと思われる。

偶然にもニホンザルが倒したカメラで撮影できた例があった。

※ ★印のムササビは当園内で保護された個体を放獣し、保護のため架設した巣箱で撮影されたもの。(現在、巣箱は撤去)

3. センサーカメラで捉えた動物たちの姿



ニホンカモシカ



ニホンイノシシ



ニホンジカ



ホンドテン



ニホンノウサギ



ホンドタヌキ

このように、人里に近いまさに「里山」の桐生自然観察の森にも、たくさんの哺乳類たちが棲んでいます。

ポスター展示ではスライドショーと剥製展示も行います。多くの動物たちの姿をご覧ください。